

第16回 環境コミュニケーション大賞

表彰式

日時 2013年3月6日(水) 14:00~16:00

会場 主婦会館プラザエフ(東京都千代田区六番町15番地)

主催:環境省、財団法人地球・人間環境フォーラム

協賛:一般社団法人サステナビリティ情報審査協会

協力:日本公認会計士協会、一般財団法人持続性推進機構

後援:朝日新聞社、公益財団法人地球環境戦略研究機関

1. プログラム

第16回環境コミュニケーション大賞 表彰式

開会挨拶	環境副大臣	田中 和徳	(予定)
表彰状授与			
テレビ環境CM部門受賞作品上映			
受賞者代表挨拶	株式会社東芝	執行役専務	渡辺 敏治
審査委員長特別講演	東京大学名誉教授	山本 良一	
閉会挨拶			

目 次

1. プログラム	1
2. 開催主旨	2
3. 受賞一覧	4
4. 受賞作品講評	6
5. 一次選考通過作品一覧	22
6. 審査委員	25
7. 応募団体一覧	27

2. 開催趣旨

「環境コミュニケーション大賞」は、優れた環境報告書等や環境活動レポート、及びテレビ環境 CM を表彰することにより、事業者等の環境経営及び環境コミュニケーションへの取組を促進するとともに、環境情報開示の質の向上を図ることを目的とする表彰制度であり、今年で 16 回目を迎えます。

表彰部門は、CSR（企業の社会的責任：Corporate Social Responsibility）報告書や持続可能性報告書なども含む環境報告書等を対象とする「環境報告書部門」、エコアクション 21 に基づく環境活動レポートを対象とする「環境活動レポート部門」、テレビ放送で放映された環境コマーシャルを対象とする「テレビ環境CM部門」の 3 部門です。

環境報告書は、事業活動に伴う環境負荷や環境配慮の状況をステークホルダーに説明するものです。環境配慮経営を効果的に実践するためには、社会からの要請や事業と環境との関連を中長期的な視点で見えていくことが重要です。環境報告書により、事業者が環境配慮経営の考え方や取組を分かりやすくステークホルダーに伝えることで、ステークホルダーからの要請や期待を経営にフィードバックしていくことが可能となります。

このように環境コミュニケーションが益々重要となる中で、今回は、改訂された「環境報告ガイドライン 2012 年版」に基づき作成した評価基準を追加し、質の高い環境報告書を表彰しています。また、事業者の応募メリットを上げるために、環境報告書部門では「環境配慮経営の評価チェックシート」による学生からのフィードバックに取り組んだり、環境活動レポート部門では優良取組による評価を奨励賞に加えたりしています。

■ 表彰の実施にあたって

今回の環境コミュニケーション大賞は、2012 年 10 月 5 日から 2012 年 11 月 12 日にかけて募集を行い、環境報告書部門 177 点、環境活動レポート部門 78 点、テレビ環境 CM 部門 24 点の、あわせて 279 点の応募がありました。

審査の結果、以下の賞がそれぞれ決定しました。

[環境報告書部門]

環境報告大賞（環境大臣賞）	1 点
持続可能性報告大賞（環境大臣賞）	1 点
地球温暖化対策報告大賞（環境大臣賞）	1 点
優秀賞（地球・人間環境フォーラム理事長賞）	6 点
生物多様性報告特別優秀賞（地球・人間環境フォーラム理事長賞）	1 点
信頼性報告特別優秀賞(サステナビリティ情報審査協会会長賞)	1 点
奨励賞	6 点
環境配慮促進法特定事業者賞	2 点

[環境活動レポート部門]

大賞（環境大臣賞）	1 点
優秀賞（地球・人間環境フォーラム理事長賞）	4 点
奨励賞	6 点

[テレビ環境CM部門]

大賞（環境大臣賞）	1 点
優秀賞（地球・人間環境フォーラム理事長賞）	3 点

環境報告書部門では、環境報告書部門ワーキンググループ委員会による一次選考、審査委員会による二次選考を経て、受賞作を決定いたしました。

前回同様優秀賞のうち「生物多様性」「信頼性」に関する記述に優れた報告書について、特別優秀賞として表彰を行いました。

「奨励賞」については、前回に引き続きこれまでの規模の大きくない事業者やサイト単位の環境報告書や取り組みを始めてまもない事業者の報告書であって、工夫や努力が認められるものに加え、上記の大賞・優秀賞には選ばれなかったものの、環境配慮経営を意欲的に取り組んでいる事業者の報告書や、分かりやすい情報の開示がなされている報告書、先進的な取り組みや開示を進めている事業者の報告書、他の模範としてふさわしい情報の開示を進めている報告書に対しても「奨励賞」として表彰することとし、受賞対象の範囲を拡大し審査を行いました。

また、今回からは「環境配慮経営の評価チェックシート」を任意で提出いただきました。こちらにも多くの事業者より参加して頂き、環境コミュニケーションのさらなる推進が期待されます。

「環境配慮経営の評価チェックシート」のレビューにご協力頂いた大学のゼミは以下の通りです。

上智大学	経済学部	上妻教授ゼミ
中央大学	経済学部	丸山教授ゼミ
中央大学	法学部	ヘッセ教授ゼミ
法政大学	人間環境学部	長谷川教授ゼミ
明治大学	経営学部	千葉教授ゼミ
横浜国立大学	経営学部	八木教授ゼミ

環境活動レポート部門では、環境報告書部門と同様に、環境活動レポート部門ワーキンググループ委員会による一次選考、審査委員会による二次選考を経て、受賞作を決定いたしました。「大賞」「優秀賞」に加え、取り組みを始めてまもない事業者のレポートであって、工夫や努力の認められるものに加え、今回からは優れた環境経営の取組を実践している事業者の環境活動レポートに対しても「奨励賞」として表彰することとし、受賞対象の範囲を拡大し審査を行いました。

テレビ環境CM部門については、個別に別途の専門家等による審査委員会を設けて審査を行い、「大賞」「優秀賞」を決定いたしました。

3. 受賞一覧

環境報告書部門

【環境報告大賞（環境大臣賞）】（1点）

株式会社東芝 東芝グループ環境レポート2012

【持続可能性報告大賞（環境大臣賞）】（1点）

株式会社日立製作所 日立グループ サステナビリティレポート2012（ダイジェスト・詳細版）

【地球温暖化対策報告大賞（環境大臣賞）】（1点）

株式会社ブリヂストン ブリヂストングループ環境報告書2012

【優秀賞（地球・人間環境フォーラム理事長賞）】（6点）

味の素株式会社 味の素グループ サステナビリティレポート2012（フルレポート）
イオン株式会社 イオン環境・社会報告書2012、イオンの環境・社会への取り組み2012
住友電気工業株式会社 SEI CSR報告書2012
日本興亜損害保険株式会社 日本興亜損保 環境レポート2012
日本郵船株式会社 日本郵船グループ CSRレポート2012
前田建設工業株式会社 CSR報告書2012 MAEDAとつくる ひとと未来のつながり

【生物多様性報告特別優秀賞（地球・人間環境フォーラム理事長賞）】（1点）

株式会社岡村製作所 株式会社岡村製作所 CSR Report 2012

【信頼性報告特別優秀賞（サステナビリティ情報審査協会会長賞）】（1点）

住友金属鉱山株式会社 CSR報告書 2012

【奨励賞】（6点）

小林クリエイト株式会社 CSR Environmental Report 2012
三洋化成工業株式会社 CSRレポート2012
サラヤ株式会社 環境レポート2012
シャープ株式会社 三重工場 シャープ（株） 三重工場 環境・社会貢献活動情報誌
日本山村硝子株式会社 CSR報告書2012
株式会社リリーフ CSR報告書2012

【環境配慮促進法特定事業者賞】（2点）

国立大学法人熊本大学 えこあくと2012（熊本大学環境報告書）
独立行政法人水資源機構 環境報告書2012

環境活動レポート部門

【大賞（環境大臣賞）】（１点）

来ハトメ工業株式会社 環境活動レポート2012年版

【優秀賞（地球・人間環境フォーラム理事長賞）】（４点）

ＳＧモータース株式会社 環境活動レポート～自動車整備業界の環境先進企業を目指します～
九州林産株式会社 環境活動レポート 平成23年度
トヨタ部品埼玉共販株式会社 環境活動レポート 2011年度(2011年4月～2012年3月)
日本化学機械製造株式会社 環境活動レポート 2011年度

【奨励賞】（３点）

株式会社今住鉄工 環境活動レポート（2011年1月1日～ 2011年12月31日）
上島珈琲貿易株式会社 上島珈琲貿易株式会社 2012年度環境活動レポート
静岡県立総合病院 環境活動レポート 平成23年度版

※環境活動レポートの受賞作品は、エコアクション21中央事務局のホームページからダウンロードできます。

http://www.ea21.jp/list/ninsho_list.php

【奨励賞（環境配慮の優良取組）】（３点）

株式会社伊豆美化企画
エスケー石鹸株式会社
有限会社土江重機

テレビ環境CM部門

【大賞（環境大臣賞）】（１点）

株式会社東芝 東芝LED・ルーブル美術館「点灯篇」

【優秀賞（地球・人間環境フォーラム理事長賞）】（３点）

ソニー株式会社 スマトラ島森林保全プロジェクトーFor the Next Generationー
株式会社東芝 LED10年カレンダー
株式会社ブリヂストン タイヤカフェ リトレッド篇

4. 受賞作品講評

環境報告書部門

環境報告大賞（環境大臣賞）

株式会社東芝

東芝グループ環境レポート2012

トップコミットが明確かつ具体的である。4つのGREENに分けて方針・計画・実践・課題が整合的・体系的に報告され、大変わかりやすい。また、経営環境の長期的なメガトレンド変化を意識した「環境ビジョン2050」に基づき、長期的な視点からバックキャスティングするグローバル環境経営をめざして取り組んでおり、ダイナミズムを感じる。製品と事業プロセスの環境効率ならびに総合環境効率指標（ファクター）と環境アクションプランによるKPIの評価も実践的である。また、マテリアルフローに経年変化グラフを併記したことで環境負荷推移の全体像がより分かりやすくなった。なお、企業グループとしての「総合環境監査システム」の構築・運用も評価したい。

また、経営者コミットメントでは、ISO26000を参照してCSR経営を推進しており、その範囲はサプライチェーンも含めていることを明示している。CSRレポート上もISO26000にそった開示になっており、コミットメントとの整合性がとれていると共に、分かりやすいレポートとなっている。その他、ステークホルダーへの経済的価値分配の開示がなされている点も評価できる。

アニュアル、CSR、環境、社会貢献と報告書を分け、ステークホルダーにとって関心がある報告書を読めるような報告体系となっていることも評価できる。

TOSHIBA
Leading Innovation

環境レポート Environmental Report 2012



ECO+

ビジョン・戦略

トップコミットメント

地球と調和した人間の豊かな生活の実現に向けて
4つの「Green」で、エコリーディングカンパニーをめざします。



会長兼社長 青木 隆夫

東芝は、人と自然の調和のとれた社会の実現に向けて、環境と調和した人間の豊かな生活の実現に向けて、4つの「Green」で、エコリーディングカンパニーをめざします。

東芝グループは、2011年10月1日現在、約100カ国・地域に約100万人の従業員を擁するグローバル企業です。東芝は、人と自然の調和のとれた社会の実現に向けて、環境と調和した人間の豊かな生活の実現に向けて、4つの「Green」で、エコリーディングカンパニーをめざします。

東芝は、人と自然の調和のとれた社会の実現に向けて、環境と調和した人間の豊かな生活の実現に向けて、4つの「Green」で、エコリーディングカンパニーをめざします。

東芝は、人と自然の調和のとれた社会の実現に向けて、環境と調和した人間の豊かな生活の実現に向けて、4つの「Green」で、エコリーディングカンパニーをめざします。

東芝は、人と自然の調和のとれた社会の実現に向けて、環境と調和した人間の豊かな生活の実現に向けて、4つの「Green」で、エコリーディングカンパニーをめざします。

東芝は、人と自然の調和のとれた社会の実現に向けて、環境と調和した人間の豊かな生活の実現に向けて、4つの「Green」で、エコリーディングカンパニーをめざします。

東芝は、人と自然の調和のとれた社会の実現に向けて、環境と調和した人間の豊かな生活の実現に向けて、4つの「Green」で、エコリーディングカンパニーをめざします。

東芝は、人と自然の調和のとれた社会の実現に向けて、環境と調和した人間の豊かな生活の実現に向けて、4つの「Green」で、エコリーディングカンパニーをめざします。

東芝は、人と自然の調和のとれた社会の実現に向けて、環境と調和した人間の豊かな生活の実現に向けて、4つの「Green」で、エコリーディングカンパニーをめざします。

東芝は、人と自然の調和のとれた社会の実現に向けて、環境と調和した人間の豊かな生活の実現に向けて、4つの「Green」で、エコリーディングカンパニーをめざします。

東芝は、人と自然の調和のとれた社会の実現に向けて、環境と調和した人間の豊かな生活の実現に向けて、4つの「Green」で、エコリーディングカンパニーをめざします。

東芝は、人と自然の調和のとれた社会の実現に向けて、環境と調和した人間の豊かな生活の実現に向けて、4つの「Green」で、エコリーディングカンパニーをめざします。

東芝は、人と自然の調和のとれた社会の実現に向けて、環境と調和した人間の豊かな生活の実現に向けて、4つの「Green」で、エコリーディングカンパニーをめざします。

東芝は、人と自然の調和のとれた社会の実現に向けて、環境と調和した人間の豊かな生活の実現に向けて、4つの「Green」で、エコリーディングカンパニーをめざします。

東芝は、人と自然の調和のとれた社会の実現に向けて、環境と調和した人間の豊かな生活の実現に向けて、4つの「Green」で、エコリーディングカンパニーをめざします。

東芝は、人と自然の調和のとれた社会の実現に向けて、環境と調和した人間の豊かな生活の実現に向けて、4つの「Green」で、エコリーディングカンパニーをめざします。

東芝は、人と自然の調和のとれた社会の実現に向けて、環境と調和した人間の豊かな生活の実現に向けて、4つの「Green」で、エコリーディングカンパニーをめざします。

東芝は、人と自然の調和のとれた社会の実現に向けて、環境と調和した人間の豊かな生活の実現に向けて、4つの「Green」で、エコリーディングカンパニーをめざします。

東芝は、人と自然の調和のとれた社会の実現に向けて、環境と調和した人間の豊かな生活の実現に向けて、4つの「Green」で、エコリーディングカンパニーをめざします。

東芝は、人と自然の調和のとれた社会の実現に向けて、環境と調和した人間の豊かな生活の実現に向けて、4つの「Green」で、エコリーディングカンパニーをめざします。

東芝は、人と自然の調和のとれた社会の実現に向けて、環境と調和した人間の豊かな生活の実現に向けて、4つの「Green」で、エコリーディングカンパニーをめざします。

東芝は、人と自然の調和のとれた社会の実現に向けて、環境と調和した人間の豊かな生活の実現に向けて、4つの「Green」で、エコリーディングカンパニーをめざします。

東芝は、人と自然の調和のとれた社会の実現に向けて、環境と調和した人間の豊かな生活の実現に向けて、4つの「Green」で、エコリーディングカンパニーをめざします。

東芝は、人と自然の調和のとれた社会の実現に向けて、環境と調和した人間の豊かな生活の実現に向けて、4つの「Green」で、エコリーディングカンパニーをめざします。

東芝は、人と自然の調和のとれた社会の実現に向けて、環境と調和した人間の豊かな生活の実現に向けて、4つの「Green」で、エコリーディングカンパニーをめざします。

東芝は、人と自然の調和のとれた社会の実現に向けて、環境と調和した人間の豊かな生活の実現に向けて、4つの「Green」で、エコリーディングカンパニーをめざします。

東芝は、人と自然の調和のとれた社会の実現に向けて、環境と調和した人間の豊かな生活の実現に向けて、4つの「Green」で、エコリーディングカンパニーをめざします。

東芝は、人と自然の調和のとれた社会の実現に向けて、環境と調和した人間の豊かな生活の実現に向けて、4つの「Green」で、エコリーディングカンパニーをめざします。

東芝は、人と自然の調和のとれた社会の実現に向けて、環境と調和した人間の豊かな生活の実現に向けて、4つの「Green」で、エコリーディングカンパニーをめざします。

東芝は、人と自然の調和のとれた社会の実現に向けて、環境と調和した人間の豊かな生活の実現に向けて、4つの「Green」で、エコリーディングカンパニーをめざします。

東芝は、人と自然の調和のとれた社会の実現に向けて、環境と調和した人間の豊かな生活の実現に向けて、4つの「Green」で、エコリーディングカンパニーをめざします。

東芝は、人と自然の調和のとれた社会の実現に向けて、環境と調和した人間の豊かな生活の実現に向けて、4つの「Green」で、エコリーディングカンパニーをめざします。

東芝は、人と自然の調和のとれた社会の実現に向けて、環境と調和した人間の豊かな生活の実現に向けて、4つの「Green」で、エコリーディングカンパニーをめざします。

東芝は、人と自然の調和のとれた社会の実現に向けて、環境と調和した人間の豊かな生活の実現に向けて、4つの「Green」で、エコリーディングカンパニーをめざします。

東芝は、人と自然の調和のとれた社会の実現に向けて、環境と調和した人間の豊かな生活の実現に向けて、4つの「Green」で、エコリーディングカンパニーをめざします。

東芝は、人と自然の調和のとれた社会の実現に向けて、環境と調和した人間の豊かな生活の実現に向けて、4つの「Green」で、エコリーディングカンパニーをめざします。

東芝は、人と自然の調和のとれた社会の実現に向けて、環境と調和した人間の豊かな生活の実現に向けて、4つの「Green」で、エコリーディングカンパニーをめざします。

東芝は、人と自然の調和のとれた社会の実現に向けて、環境と調和した人間の豊かな生活の実現に向けて、4つの「Green」で、エコリーディングカンパニーをめざします。

東芝は、人と自然の調和のとれた社会の実現に向けて、環境と調和した人間の豊かな生活の実現に向けて、4つの「Green」で、エコリーディングカンパニーをめざします。

東芝は、人と自然の調和のとれた社会の実現に向けて、環境と調和した人間の豊かな生活の実現に向けて、4つの「Green」で、エコリーディングカンパニーをめざします。

戦略性が際立った素晴らしいCSR経営報告書である。経営トップの緒言で、日立グループが良き企業市民として、持続可能な社会の実現に貢献するとコミットしている。経営戦略とCSRを融合させて「2012中期経営計画」の主要施策を策定し推進している。CSR経営の推進に向けた「日立グループ行動規範」の17カ国語への翻訳・配布、eラーニングによるグループ展開、海外でのステークホルダーダイアログの実施など、グループ全体での積極的な取り組みが読み取れる。2011年度の活動を「マネジメント報告」、「環境活動報告」、「社会活動報告」の3篇に整理して、定量情報も交えて豊富な情報が包括的かつわかりやすく記述されている。また、報告書のダイジェスト版も発行していることは評価できる。

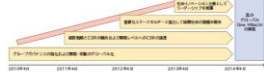
[illegible]

VISION 日立の経営戦略とCSR

同社は、経営戦略とCSRを融合させ、社会価値創造を具現することにより、持続的な成長を伴う真のグローバル企業になることを目指しています。『2012年経営計画』の主要施策とそれに関連するCSR活動の推進により、社会的価値と経済的価値の両立を図ります。

の発展に資する。クラウドとクラウドネイティブの発展に資する。クラウドネイティブでは、従来のIT環境の運用から、クラウドネイティブ環境での運用にシフトする。クラウドネイティブ環境では、従来のIT環境の運用から、クラウドネイティブ環境での運用にシフトする。クラウドネイティブ環境では、従来のIT環境の運用から、クラウドネイティブ環境での運用にシフトする。

2010年度に「酒のグローバル会議」を機としてCSRの中国分野「CSR in 中国ロードマップ」を策定しました。このロードマップにおいて、経営目標の達成に努めるが

VISION 世界の環境戦略をリードする
2012中期経営計画

2012中期経営計画
経営目標と業績予想見直し

日本は、2010年度に「2012年中期経営計画」を策定し、その進捗の概してをまとめた、2012年度の概算では、1000億円の中長期投資事業を対象とした事業ポートフォリオを、買収利益率や当社に帰属する当期中間配当、10%レバレッジ率を基本比率など目標を達成する見込みです。

	2017年度実績	2017年度計画	2017年度目標
売上高	9,660,000円	9,450,000円	9,000円
営業利益率	4.7%	5.3%	57%
売上高増減率	3.4%増	2,600,000円	2017年度計画の96.6%
売上高/人	10,000円	8,000円	10,000円

[illegible]

② 株式会社イー・ピー・シー（東京都中央区）
③ 株式会社イー・ピー・シー（東京都中央区）



味の素株式会社

味の素グループ サステナビリティレポート2012（フルレポート）

サステナビリティについて深い認識がなされており、サプライチェーンにおける資源調達を含めた持続可能な社会形成と環境保全について他社をぐんと抜き、取り組みを進めている点で高く評価できる。報告対象範囲についてもガバナンスが行き届いており、環境データはグループ全体で明確にされている。トップコミットメントでのイノベーションに関する言及、研究開発費にかける費用の額から、人口90億人の食の未来について課題解決を通じて同社の事業をさらにグローバルに進めていこうという姿勢に、世界における日本企業の手本となしてほしいと期待する。

また、2012年2月制定の「生物多様性に関する考え方と行動指針」の中に<サプライチェーン管理>という項目を設け、同社の本業における生物資源管理と生態系保全の原則をうたっている。具体的にも、『カツオだし』の原料カツオについては社外研究機関と連携しての標識放流調査、パーム油に関して2015年までに認証パーム油への全面切り替えを予定、等々、持続可能な原材料調達と生物多様性保全の両立をめざしているのも評価できる。

イオン株式会社

イオン環境・社会報告書2012、イオンの環境・社会への取り組み2012

基本理念のもと4つのKPIを「イオンサステナビリティ基本方針」に基づいて策定している。これらの4つの重点課題について、どのような推進体制をもって取り組んで来たのか読み取る事ができ、各重点課題については2020年までの中長期での目標が設定されており、それらの対策についても具体的に書かれている。また、生物多様性についても方針を定め、「海のエコラベル」付き商品等を販売する事により一般消費者との環境に関するコミュニケーションの推進している。更に、「イオンサプライヤーCoC（取引行動規範）」を作成しCSR調達の推進ならびにフェアトレード商品の開発・販売を行っていることも評価できる。

住友電気工業株式会社

SEI CSR報告書2012

同社のCSR報告書は、環境報告、社会性報告とも大変優れた内容となっている。これらは共に住友電工グループの経営理念、企業行動憲章から展開され明確な方針の基で運用が図られている。全ての要素は過去の歴史的背景から、今日のグローバルな展開に至るまで「進化への対応」と云う内容が一貫して伝わっており、この意味でも報告書自体が信頼性の基に作成されていることが良く判る。グループ内の活動に関しても補完するデータ集にサイトの環境保全状況に加え、社員支援制度と法令の対比表を加える等、新たな試みが追加され、CSRの基本姿勢が良く現れている。

日本興亜損害保険株式会社

日本興亜損保 環境レポート2012

保険業の特性を踏まえた充実かつ読みやすい報告となっている。また、保険事業と環境負荷との係わりについて、バリューチェーン全体の観点から絵解きしていることも分かりやすい。ここにKPIがリンクされており、実践的な取組と考えられる。CO2排出量算定の範囲を明示していることも評価できる。定量情報が併記されると、影響の範囲や種類だけでなく、影響の規模も表現できよう。カーボン・ニュートラル計画の国内第一号承認に見られるように、自らの地球温暖化対策も先進的であり、CO2排出量の2020年と2050年の中長期目標も高く評価できる。社会性パフォーマンスはPDF資料編で開示されているが、重要な指標は網羅されている。

評価すべきは、編集方針において環境報告ガイドライン2012年版（環境報告の重要な視点）への準拠を明記したことである。最重要課題の報告という編集方針に基づくものの、Web開示項目をわかりやすく記載するともっとよい。

日本郵船株式会社

日本郵船グループ CSRレポート2012

海運業として重要とされる項目を網羅的かつ簡潔にまとめられた報告書である。

環境面ではCO2排出量の削減、省エネルギーの取り組み、生物多様性の保全、大気汚染防止等、輸送船が抱える環境負荷の低減に向けた取組を分かりやすく取りまとめている。環境経営指標はIMO（国際海事機関）ガイドラインに準拠し、指標に関係するデータは日本海事協会の認定を取得するなど信頼性の向上に努めていることは評価できる

社会面では人材育成に力を入れていることが読み取れる。特集ではフィリピンでの商船学校での人材育成の取り組みの掲載や、70種を超える多種多様な研修の実施など戦略的な人材育成を行っている。業種の特性なのか、専門用語や略語が各所に出てくるが、ページ内に注釈で説明がついているので、理解することができる。

前田建設工業株式会社

CSR報告書2012 MAEDAとつくる ひとと未来のつながり

前田建設は環境経営NO1を掲げ様々な取り組みを実施していると共に、中期経営計画をCSR活動と連動させ、事業とCSR活動が一体となった活動を実施している。トップコミットメントでもこの点に触れている。報告書では特集においてCSRに関連する事業テーマを掲載し、それぞれのCSRテーマ報告においても日常の事業活動がCSR活動と一体化して運用されているように見える。また、CSRに関する数値情報も充実しており、特に経済性報告は工夫されている。有識者などのステークホルダーの声も記載され、バランスのよい報告書となっている。

欧米先進国が違法伐採木材製品を厳しく規制している中で、日本だけが政府調達とは別としても民間調達では殆ど野放しになっているといっても過言ではない。そうした状況の中で木材の利用を生物多様性との関連が最も深い事業活動として特定し、2020年度に向けた定性目標を設定している。木材利用方針に基づく製品開発に加え、利用木材の合法性調査や、原産国ごとの違法伐採リスクの把握など、環境リスク低減に向けた取り組みをサプライチェーンを通じて実施している。その他、社内教育体制の整備、森林保全活動を通じた地域経済の活性化や、啓発活動など、生物多様性の切り口で様々なステークホルダーへの働きかけを行っていることが読み取れる。

第三者審査並びに意見の両方を受けている点や、専門用語等について各頁で注釈を付け丁寧に説明している点も、開示情報の信頼性並びに理解容易性の向上に向けた積極的な取り組みとして評価できる。

更に報告同社のCSR報告書の信頼性については、第三者審査機関の「独立保証報告書」の審査を巾ひろく受けており、「第三者の意見」においては指摘に対してCSR担当役員が「第三者意見を受けて」として適切な回答を記述している。また、「GRI内容索引」も対比の記載内容が分かり易く記述してあり秀逸である。

常に従業員の意見を報告書の中に取り入れていることもよい。一貫しているのは、人との繋がり、人材・人権であり、各事業本部長の方針や考え方からも同社の企業文化の基になっていることが読み取れる。また、環境報告に関しても、環境保全の内容を重点的に絞っている点や、その中で生物多様性や温暖化抑制の内容は適切である。

ステークホルダーとのコミュニケーションを重視しており、双方向の交流を図っている記述は大変すばらしい。今後は、自浄能力の状況、即ち内部監査や内部統制等の自己評価の記述の充実も期待したい。

倫理綱領や行動規範において、社会的責任についての行動指針を示すほか、CSR推進計画により、環境・社会的課題を着実に管理して遂行している。また、「かけがえのない地球を守るため、私たちが今できることを・・・」と環境スローガンを掲げ、調達から廃棄に至るまでバリューチェーンを視野に入れた環境配慮活動をしている。特に、グリーンパートナー及びグリーン購入の97%という高い比率は高く評価できる。中堅企業の報告書としては、企業概要を充実させることを期待したい。

中堅規模の企業の報告書としては、自社のマテリアリティが明確になっており、それに基づいた活動について明確に開示されているほか、トップのコミットメントも明確である。環境活動に関しては、目標と実績は理解できるが、今後の方向性などについては長期ビジョンや中期目標の開示があるとよい。

CSR調達については最先端をいっているといっても過言ではなく、他の模範になる。ステークホルダー・エンゲージメントや、事故の詳細情報も評価できる。

持続可能な社会の貢献に向けた経営者の考え方が、経営者の緒言から十分に伝わってくる。また、「パフォーマンスケミカル」というコンセプトで経営と環境との関連を示し、さらに生産活動に伴う環境負荷のみではなく、製品LCAによるCO₂削減、CSR調達など幅広い取組をしており、環境経営の取組として高く評価できる。また、数年間の環境負荷数値をグラフ化して分かりやすい説明を付すとともに、詳細データを公表するなど、質の高い報告となっている。

シャープ株式会社 三重工場

シャープ（株）三重工場 環境・社会貢献活動情報誌

今回は、本誌の「環境★社会貢献活動情報誌」に加え、そのダイジェスト版である「かわら版」、そして2012年5月15日に初めて実施した地域との意見交換会（ステークホルダー・ダイアログ）の内容を伝える「シャープと地域の対話新聞」も折り込まれ、地域との連携強化を目指す同工場の取り組みが、ますます活性化していることがわかる。それに加え例年通り、地元行政や大学、協力会社、社員、小中高の生徒・学生・先生等の様々なステークホルダーも顔写真入りで多数のコメントを記載しており、工場における「ダイアログ」のモデル事例と言える。一般的に近隣住民にとって分かりにくい環境保全や環境パフォーマンス等の技術面の記載も丁寧でわかりやすく、着実にその成果も挙げている。

同社の他工場の報告書も評価が高く、会社が苦境にある中で現場が頑張っていることが読み取れ、高く評価された。

日本山村硝子株式会社

CSR報告書2012

経営者及び従業員が一丸となって環境・CSRに取り組む姿勢が伝わってくる報告となっている。また、「企業の方向性」にある4つの要素にGREENを掲げているように、ガラス瓶製造が主たる事業の容器メーカーとして循環型社会の実現に貢献することが経営において重要視されている。また、CO2削減、3Rなど指標を利用した環境管理の徹底、社会的な事項も含め企業活動に関する基本指針、人権啓発への取組、環境教育の取組など、幅広い取組は高く評価できる。

株式会社リリーフ

CSR報告書2012

「全てのステークホルダーから安心・信頼される事業運営を通して、パートナー、お客様、社会の利益と繁栄に貢献するとともに、持続可能な社会の構築を目指します」との経営理念の実践に向けて、ISO26000の中核課題に基づく広範な情報開示がなされている。環境面については、三カ年のアクションプランの進捗が定量的に示されるとともに、マテリアルバランスも開示されており、小規模な事業者の環境情報開示として模範となるレベルのものである。また苦情や事故などのネガティブ情報についてもその内容と対策が誠実に示されている。加えて、第三者委員会での主要なステークホルダーからのコミュニケーションの状況も開示されており、報告書の透明性を高める努力をしている点も高く評価できる。

常連の他大学の報告書が進歩している中で、ニューフェイスながらもレイアウトが工夫されており、とても読み易く、際立った報告書として高く評価された。持続可能な社会の3つの柱である「低炭素」「循環型」「自然共生」を、スタイルとして項目立てることで、知の拠点としての活動を分かり易く紹介している。

「低炭素」の記載では、熊本大学のデータだけではなく、国立大学法人の中での自組織の順位がわかるようになっており、比較可能性にも配慮している。

本業と密接に関連しているとはいえ、生物多様性に配慮した事業内容となっており写真入りで具体的に紹介してある。平成23年度の取り組み計画と実績が実に多岐にわたり詳細に記載してあり、内部監査、外部監査を含め環境マネジメントシステムを有効に活用していることは評価できる。環境保全を軸にした社会との関係の記述も豊富である。より良い報告書をめざし、環境報告ガイドラインとの対比表など地道に努力していることが読み取れる。

概要版を作製し取組概要を知ってもらえるようコミュニケーションを計ろうとしている努力も評価したい。

環境活動レポート部門

大賞（環境大臣賞）

来ハトメ工業株式会社

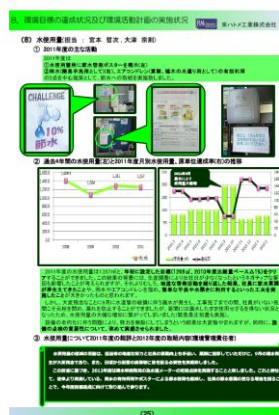
環境活動レポート2012年版

同社は、金属材料を使用する容器・ケース等の製造を行っている製造企業となる。EA21に取り組む企業は従業員100人以下が90%であるが、40人規模の同社は中堅に位置する。

環境活動レポートは、情報量が豊富かつ写真やグラフを多用しており、読み手にとって視覚的に大変わかりやすいものとなっている。社内の施設配置図や担当者の顔写真、各環境項目の取組責任者の氏名などが具体的に紹介されており、積極的に情報公開に努めている。

また、代表者の見直しの項では取組項目ごとに評価と改善点を指摘していること、環境項目に基づき目標と活動計画に関して、管理責任者がきちんとコメントしていることなど、丁寧な情報発信に努めようとする姿勢がうかがえる。

今後は、環境配慮製品（エコ替え提案）が環境経営として定着することを期待したい。



SGモータース株式会社

環境活動レポート～自動車整備業界の環境先進企業を目指します～

環境活動計画の取組結果と評価について、期間内での達成状況と月毎の推移がわかりやすく示されており、取組結果が一目瞭然となっている。レポートの後半では数値だけでなく、「車両の開発と整備体制の構築による環境保全活動」、「施設の展開と設備投資による環境対策」等、本業に根差した独自の取組内容が事例紹介の形で、要領良くまとめられている。

また、本社・営業店から、全工場へと認証・登録範囲を段階的に拡大していく計画が明記されている。併せて、レポートには、認証・登録済の営業店に加え、24年度に認証・登録予定の工場分のデータも記載されている点は意欲的である。

ただし、工場分は対象期間が異なると思われるため、注記が必要である。

九州林産株式会社

環境活動レポート 平成23年度

造林、緑化、住宅事業を行っている会社として、業務に即し、緑化工事、間伐材利用、FSC森林認証材利用を環境目標として設定している。また、運営をしている森林は5つのゾーン（資源循環林のゾーン、水源・公益的機能維持のゾーンなど）に区分し管理を行っている。社会貢献として環境ボランティア（湿原野焼き、小規模集落水路浚渫、フラワーボックス寄贈など）、森林見学会、環境学習会、木工教室など森林資源を利用した活動も行っている。マテリアルバランス、環境会計、エネルギー使用量の他業種との比較など環境活動レポートとして1歩進んだ内容となっている。

また、取組内容についてよく整理し、写真、グラフを活用しわかりやすく紹介している。

今後は、緑化工事等業務を踏まえた環境改善活動に関するより詳細な記述を期待したい。

トヨタ部品埼玉共販株式会社

環境活動レポート 2011年度(2011年4月～2012年3月)

EA21に取り組む企業としては大手に属するが、本社以外の店舗は個々にみれば小規模事業所であり、多サイトにおけるマネジメントの実施、データの集計・集約、取組状況の把握・評価の結果がわかりやすく記載されている。また、環境活動計画が10項目にきれいに分けられているのもわかりやすい。改善活動についてきめ細かく実践しており、3年間で電力消費量28%削減、ガソリン消費量59%削減、産業廃棄物72%削減など大きな成果が見られ、設定した目標に対して徹底した取組を行っていることが見て取れる。

また、「節電し隊」、「やめる・かえる提案制度」（1,000件以上の提案）等からも、全員参加・参加が浸透している状況がうかがえる。

化学・食品・医療工業界向けに広く化学機械や化学プラントを提供している製造会社であり、EA21に取り組む企業としてはやや大手に属する。

環境活動レポートでは、環境活動アルバムと題し、旧資材置場を花と緑の庭に変え、育てた花、野菜、果樹の写真を掲載し、その過程で様々な昆虫や鳥等が訪れるようになったことを写真を交えて紹介している。

さらに環境負荷の実績が主力工場毎にグラフ化を行い、見やすく記載されている。また、主力工場の本社工場と南山田工場は電力使用量が2011年度はそれぞれ、実績値で17%削減、21%削減と効果をあげていること、環境項目に基づき目標と活動計画に関して結果と今後の取組についての的確にコメントされていることなど、丁寧な情報発信に努めている状況がうかがえる。

環境配慮製品の受注推進を大きく扱い、環境経営推進を際立たせるとさらに良い。

奨励賞

株式会社今住鉄工

環境活動レポート（2011年1月1日～ 2011年12月31日）

同社は、従業員13名の鉄骨建築業である。

環境活動レポートは、細かなイラストや写真を多用し、きれいな色使いで親しみが持てるレポートとなっている。取り組みを始めて間もないにもかかわらず、CO2の発生量は2009年度比39%削減と大きな効果をあげており、これをグリーン電力購入、水銀灯の高効率照明への設備変更、省エネ活動の実践により達成するなど取り組み内容は多岐にわたり、また本業での不適合製品ゼロを目指すなどEA21をうまく活用している。

自然との共生取り組みやボランティア活動なども素晴らしく、「人は宝」という社是が読み取れる活動レポートである。

上島珈琲貿易株式会社

上島珈琲貿易株式会社 2012年度環境活動レポート

珈琲豆の焙煎・加工及び販売等を行っている企業であり、EA21の認証・登録範囲としては本社を含む4つの事業所を対象としている。

環境活動レポートについては、取組を始めてまだ短期間であるが、環境目標の設定と実績の把握、その評価と次年度の取組方向について丁寧にまとめられている。

また、社内の環境活動について、写真入りで分かりやすく紹介していることに加えて、食品リサイクル率については当然の取組としても、水道使用量等の多くの活動項目で数値を用いて実績評価を行っていること、環境活動による経費の削減効果を金額で明記している点など、全般的に工夫されている。

静岡県立総合病院

環境活動レポート 平成23年度版

静岡県に所在する多くの診療科を擁する総合病院である。

取組としては、エコリーダーによる「エコパトロール」や、従業員のエコ意識を楽しく喚起するための「エコ川柳・標語」など、環境活動のマンネリ化を防ぐための工夫が複数実施されている。

また、成果が出なくなってきた廃棄物削減の取り組みについては、分別方法の見直しを行い、全病棟で新ルールでの運用を開始していることなどが説明されており、地道ながらも継続的改善のための活動が実行され、環境マネジメントシステムが機能していることが伝わる記載内容となっている。

株式会社伊豆美化企画

高い専門性が要求されるビオトープを、従業員の独学で手作りにより、試行錯誤の末に作り上げたことは称賛に値する。さらに同社は、これを地域社会との交流や環境啓発、取引先との関係強化、そして従業員の意識・士気向上につなげるなど、ビオトープを自社の看板活動としてもフル活用している。

とりわけ、ビオトープで育ったカブトムシや蛍を提供することなどを通じて、顧客との信頼関係がより強固なものとなり、結果的に廃棄物の分別を徹底してくれるようになったというエピソードからは、そこに至るまでの同社の努力の大きさやひたむきさを感じ取ることができた。

エスケー石鹸株式会社

大正7年創業の石鹸メーカーである。

2002年から廃食油の収集・運搬業者とその精製油脂メーカーとの協業による循環型システムを構築し、2011年には植物系バージン油脂の使用量を約75%削減している。同社の「廃食用油リサイクル石けん」は、環境意識の高い企業約50社や約2,000の全国の小中学校でも利用されている。

また、小学校の環境授業として廃食油を使つての石けん作りを主体にした「環境出前授業」を2002年より行っている。これは社会貢献にもつながる活動であり、先進的な環境配慮の取組として評価できる。

有限会社 土江重機

中小企業において、「eco8」という二酸化炭素削減装置を自社で開発・商品化を行い、効果を測定するとともに、他社への販売を行い、効果を波及させている点について前例は少なく、評価できる。また、島根県のCO2吸収・固定量承認制度（オフセット）を活用し、CO2排出量ゼロとしている点についても評価でき、他の事業者においても水平展開できる事例となる。

報告書は、目標対実績の対比やグラフ化など読みやすい工夫がなされている。

テレビ環境CM部門

大賞（環境大臣賞）

株式会社東芝

東芝LED・ルーブル美術館「点灯篇」

省エネ・節電対策の有望なアイテムとしてLED照明への関心が高まっている。最新の消費者調査を見ても、エコ商品ランキングの1位はLED電球である。そんな中、このCMは、ルーブル美術館をライトアップするのに東芝のLED技術が採用されたことを伝える。驚くべきは、その省エネ効果だ。以前の照明と比べて消費電力を73%削減したという。LEDは白熱電球に比べて温かみがないという照明デザイナーもいるようだが、技術者の努力の甲斐あって、LEDに照らし出されたルーブル美術館は、パリのソワール（夜）の中に温かく浮かび上がる。

あのルーブル美術館にニッポンのLED技術が採用されたことを誇らしく思うと同時に、このCMが、ニッポン人の心と地球の未来を明るくしてくれることを願わずにいられない。

優秀賞（地球・人間環境フォーラム理事長賞）

ソニー株式会社

スマトラ島森林保全プロジェクトFor the Next Generation

この森林保全プロジェクト始め、環境保全プロジェクトへの取り組みをテーマにする優れたCMは沢山あったが、その中で「次世代のために」と題したスマトラ島森林保全プロジェクトを選んだ理由は、環境保全のためソニーにできる事を分かりやすく訴えている点であり、またソニーの技術力の高さを表現している。是非ともこの技術をさらに次世代に引き継いで行って欲しいという願いをこめて選んだ。

株式会社東芝

LED10年カレンダー

10年間、3650日。ある一人の男性が、恋をして、結婚して、子供が生まれ、子供を育てながら家族が笑顔で一緒に時を刻むことの幸せを噛みしめる...このCMを見た人は皆、自分が過ごしてきた3650日という時間の重みを感じるだろう。

LED電球の広告は、環境性能を訴求しているものが多い。しかし、電球は人々の生活に寄りそい、日々の暮らしを見守り続ける「あかり」文化を象徴するモノでもある。

CMを制作する側の視点に立てば、電球を購買する「消費者」に着目してCMをつくっていない点が特徴的である。自社商品を店頭で買ってくればそれでよいわけではない。人々は、商品を買ってくれる消費者であると同時に、その後何年か実際にその商品とともに人生の貴重な時間を過ごしていく「生活者」でもあるのだ。一人の男性が東芝のLED電球のもとで、どんな気持ちで3650日を過ごしていくのか。徹底的に生活者側の視点にたったCMづくりが、受賞の理由である。

消費者が出来ることはより環境負荷の少ない製品を購入して、大切に使いながら可能な限り長寿命化を図ることであるが、新し物好きな消費者は中々実行に移せない。GDPの伸びと廃棄物の排出量が比例していることがそれを物語っている。しかしロールケーキの表面を剥ぐ様にして食べることで、すり減ったタイヤの表面を張り替えるだけで新製品として生まれ変わることを、リトレッドタイヤという聞きなれない用語を使って、タイヤのリユースを斬新なイメージにし、トレンドィな配役でユーモアを交えて教えてくれるこのCMは秀逸な環境CMであると評価する。押しつけがましい「モッタイナイ」ではなく、新しい商品として生まれ変わる良い環境CMであると考ええる。

5. 一次審査通過作品一覧

環境報告書部門

味の素株式会社	味の素グループ サステナビリティレポート 2012 (フルレポート)
イオン株式会社	イオン環境・社会報告書 2012、イオンの環境・社会 への取り組み 2012
大阪ガス株式会社	大阪ガスグループ CSR レポート 2012
株式会社岡村製作所	株式会社 岡村製作所 CSR Report2012
キリンホールディングス株式会社	キリングroupサステナビリティレポート 2012
シャープ株式会社	シャープ サステナビリティ レポート 2012
住友金属鉱山株式会社	CSR 報告書 2012
住友電気工業株式会社	SEI CSR 報告書 2012
住友林業株式会社	住友林業グループ「CSR レポート 2012」
積水化学工業株式会社	CSR レポート 2012
積水ハウス株式会社	Sustainability Report 2012
大日本印刷株式会社	DNP グループ CSR 報告書 2012 (含む、DNP グループ 環境報告書 2012)
大和ハウス工業株式会社	大和ハウスグループ CSR レポート 2012 ～「環境」 との共創共生～
武田薬品工業株式会社	Annual Report 2012 および CSR Data Book 2012
株式会社東芝	東芝グループ環境レポート 2012
東邦ガス株式会社	環境・社会報告書 2012
日本興亜損害保険株式会社	日本興亜損保 環境レポート 2012
株式会社日本製紙グループ本社	日本製紙グループ CSR 報告書 2012 ハイライト版
日本特殊陶業株式会社	日本特殊陶業グループ CSR 報告書 2012
日本郵船株式会社	日本郵船グループ CSR レポート 2012
パナソニック株式会社	エコアイディアレポート 2012 (環境報告)、さす ィナビリティレポート 2012 (社会性報告)
東日本電信電話株式会社	NTT 東日本グループ CSR 報告書 2012
株式会社日立製作所	日立グループ サステナビリティレポート 2012 (ダ イジェスト・詳細版)

富士通株式会社	富士通グループ社会・環境報告書 2012
株式会社ブリヂストン	ブリヂストングループ環境報告書 2012
本田技研工業株式会社	Honda 環境年次レポート 2012
前田建設工業株式会社	CSR 報告書 2012 MAEDA とつくる ひとと未来のつながり
横浜ゴム株式会社	CSR REPORT 2012
リコーグループ	リコーグループサステナビリティレポート 2012
株式会社ローソン	①環境保全・社会貢献活動への取り組み報告 2012 ②マチと共に生きる取り組み報告（①の要約版）

奨励賞

小林クリエイト株式会社	CSR Environmental Report 2012
サラヤ株式会社	環境レポート 2012
三洋化成工業株式会社	CSR レポート 2012
シャープ株式会社 三重工場	シャープ（株）三重工場環境・社会貢献活動情報誌
株式会社東芝 横浜事業所	環境報告書 2012（株式会社東芝 横浜事業所）
日本山村硝子株式会社	CSR 報告書 2012
株式会社リヴァックス	CSR 報告書 2012
株式会社リリーフ	CSR 報告書 2012

環境配慮促進法特定事業者賞

独立行政法人宇宙航空研究開発機構	社会環境報告書 2012
国立大学法人熊本大学	えこあくと 2012（熊本大学環境報告書）
国立大学法人千葉大学	千葉大学環境報告書 2012
国立大学法人三重大学	世界一の「環境先進大学」の社会的責任（USR）を果たすために、三重大学環境報告書 2012
独立行政法人水資源機構	環境報告書 2012

環境活動レポート部門

SG モーターズ株式会社	環境活動レポート～自動車整備業界の環境先進企業を目指します～
九州林産株式会社	環境活動レポート 平成 23 年度
株式会社シュガーアンドスパイス	2011 Sugar&Spice 環境活動レポート
トヨタ部品埼玉共販株式会社	環境活動レポート 2011 年度(2011 年 4 月～2012 年 3 月)
日本化学機械製造株式会社	環境活動レポート 2011 年度
MARUYAMA 株式会社	エコアクション 21 環境活動レポート 2011
宮田村役場	エコアクション 21 環境活動レポート 2011
来ハトメ工業株式会社	環境活動レポート 2012 年版

奨励賞

株式会社今住鉄工	環境活動レポート (2011 年 1 月 1 日～ 2011 年 12 月 31 日)
上島珈琲貿易株式会社	上島珈琲貿易株式会社 2012 年度環境活動レポート
静岡県立総合病院	環境活動レポート平成 23 年度版

奨励賞（環境配慮の優良取組）

株式会社伊豆美化企画	
エスケー石鹼株式会社	
有限会社 土江重機	

※テレビ環境CM部門は、一次選考なし

6. 審査委員

(審査委員長・座長除く 50 音順、敬称略)

審 査 委 員

■ 環境報告書・環境活動レポート部門

山本 良一	東京大学 名誉教授 【審査委員長】
市村 清	日本公認会計士協会 常務理事
大熊 一寛	環境省総合環境政策局 環境経済課長
上妻 義直	上智大学経済学部 教授
後藤 敏彦	環境監査研究会 代表幹事
佐藤 泉	弁護士
寺田 良二	一般社団法人サステナビリティ情報審査協会 副会長
藤村コノエ	NPO法人環境文明21 共同代表
森下 研	一般財団法人持続性推進機構 専務理事
八木 裕之	横浜国立大学経営学部 教授

■ テレビ環境CM部門

山本 良一	東京大学 名誉教授 【審査委員長】
大熊 一寛	環境省総合環境政策局 環境経済課長
佐野 寛	日本デザイン機構 理事／有限会社スタジオ・エス 代表取締役社長
高岡 美佳	立教大学経営学部 教授
中原 秀樹	東京都市大学環境情報学部 教授／グリーン購入ネットワーク 会長
安川 良介	環境カウンセラー

ワーキンググループ委員

■ 環境報告書部門

猪刈 正利	株式会社インターリスク総研 コンサルティング第一部 環境グループシニアマネージャー・ 上席コンサルタント
岩佐 允勝	グリーン企画社 代表
大石美奈子	(公社) 日本消費生活アドバイザー・コンサルタント協会 環境委員会 委員長
春日 秀文	春日法律事務所 弁護士
川村 雅彦	株式会社ニッセイ基礎研究所 保険研究部門 上席主任研究員
阪野 朋子	NPO法人サステナビリティ日本フォーラム 事務局
坂本 茂實	坂本技術士事務所 代表
田原 英俊	株式会社あらたサステナビリティ認証機構 主任審査員
塚本奈穂子	有限責任監査法人トーマツ エンタープライズリスクサービス
土橋 浩次	環境省 総合環境政策局環境経済課 環境専門調査員
鶴田 佳史	大東文化大学 環境創造学部 専任講師
中山 育美	財団法人日本環境衛生センター 環境工学部調査課 主任
早川 直孝	財団法人地球・人間環境フォーラム 企画調査部 調査主任
藤井真由美	新日本サステナビリティ株式会社 シニア
三樹 尚子	ミキオフィス 代表
葎嶋 真理	オフィスむぐらじま SRIアナリスト
村上 智美	みずほ情報総研株式会社 環境エネルギー第2部環境ビジネス戦略チーム チーフコンサルタント
山本 直美	KPMG あずさサステナビリティ株式会社 シニア
後藤 敏彦	環境監査研究会 代表幹事 【座長(コーディネーター)】

■ 環境活動レポート部門

上田 充宏	エコアクション21 審査人
黒柳 要次	エコアクション21 参与、エコアクション21 審査人
笹尾 英弥	エコアクション21 参与、エコアクション21 審査人認定委員、エコアクション21 審査人
田中 充	エコアクション21 参与、エコアクション21 運営委員・審査人認定委員・判定委員
西原 弘	エコアクション21 審査人
森下 研	エコアクション21 中央事務局 事務局長

7. 応募団体一覧

環境報告書部門

アースサポート(株)	国立大学法人滋賀医科大学
アイカ工業(株)	(株)滋賀銀行
旭硝子(株)	国立大学法人静岡大学
味の素(株)	(株)島津製作所
荒川化学工業(株)	清水建設(株)
飯野海運(株)	シャープ(株)
イオン(株)	シャープ(株)葛城事業所
(株)伊藤園	シャープ(株)亀山工場
伊藤忠商事(株)	シャープ(株)総合開発センター
伊藤ハム(株)	シャープ(株)電子デバイス事業本部 福山事業所
(株)イムラ封筒	シャープ奈良事業所
井村屋グループ(株)	シャープ(株)三重工場
いわて生活協同組合	(株)商船三井
独立行政法人宇宙航空研究開発機構	昭和シェル石油(株)
エーザイ(株)	昭和電線ホールディングス(株)
エス・エヌ・ケー・テクノ(株)	新日鐵住金(株)
SGホールディングス(株)	住友金属鉱山(株)
NECアクセステクニカ(株)	住友電気工業(株)
NKSJホールディングス(株)	住友林業(株)
NTTグループ(日本電信電話(株))	生活協同組合コープながの
NTTコミュニケーションズ(株)	セイコーインスツル(株)
国立大学法人愛媛大学	積水化学工業(株)
大阪いずみ市民生活協同組合	積水ハウス(株)
大阪ガス(株)	セコム(株)
(株)大林組	(株)セブン&アイ・ホールディングス
(株)岡村製作所	(株)損害保険ジャパン
オリックス(株)	第一三共(株)
カルソニックカンセイ(株)	大栄環境グループ
川崎汽船(株)	(株)ダイエー
九州電力(株)	大学共同利用機関法人高エネルギー加速器研究機構
京セラ(株)	(株)大協
京都生活協同組合	ダイキン工業(株)
国立大学法人 京都大学	大成建設(株)
麒麟ホールディングス(株)	大日本印刷(株)
(株)クボタ	大日本スクリーン製造(株)
国立大学法人熊本大学	(株)ダイフク
国立大学法人群馬大学	太平洋セメント(株)
京王電鉄(株)	太陽生命保険(株)
国際石油開発帝石(株)	大和ハウス工業(株)
コクヨ(株)	武田薬品工業(株)
小林クリエイト(株)	(株)竹中工務店
(株)小松製作所	田辺三菱製薬(株)
埼玉日本電気(株)	(株)タムロン
サラヤ(株)	国立大学法人千葉大学
独立行政法人産業技術総合研究所	中央化学(株)
サントリーホールディングス(株)	(株)ツムラ
三洋化成工業(株)	帝人(株)
(株)ジェイテクト	独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構
JSR(株)	東京エレクトロン(株)
JFEホールディングス(株)	東京応化工業(株)

東京ガス(株)
東京急行電鉄(株)
国立大学法人東京工業大学
東京地下鉄(株)
東京都水道局
(株)東芝
(株)東芝セミコンダクター&ストレージ社
(株)東芝横浜事業所
(株)東芝四日市工場
東邦ガス(株)
東邦ホールディングス(株)
国立大学法人東北大学
東洋インキSCホールディングス(株)
東洋製罐(株)
東レ(株)
TOTO(株)
戸田建設(株)
国立大学法人鳥取大学
凸版印刷(株)
国立大学法人名古屋大学
日本興亜損害保険(株)
(株)日本製紙グループ本社
日本ハム(株)
日本郵船(株)
独立行政法人日本原子力研究開発機構
日本合成化学工業(株)
日本特殊陶業(株)
ニッパツ(日本発条(株))
日本山村硝子(株)
日本ユニシス(株)
独立行政法人農業環境技術研究所
バイオニア(株)
パナソニック(株)
パナホーム(株)
(株)バンダイナムコホールディングス
東日本電信電話(株)
日立工機(株)
(株)日立国際電気
(株)日立製作所

ヒューリック(株)
国立大学法人弘前大学
国立大学法人福井大学
富士重工業(株)
富士ゼロックス(株)
富士通(株)
富士電機(株)
富士フイルム(株)神奈川工場
富士フイルムホールディングス(株)
ブラザー工業(株)
(株)ブリヂストン
(株)ベネッセホールディングス
(株)堀場製作所
本田技研工業(株)
前田建設工業(株)
マツダ(株)
丸紅(株)
国立大学法人三重大学
独立行政法人水資源機構
三菱自動車工業(株)
三菱重工業(株)
三菱樹脂(株)平塚工場
三菱樹脂(株)長浜工場
(株)三菱UFJフィナンシャル・グループ
森永乳業(株)
(株)ヤクルト本社
矢崎総業(株)
国立大学法人横浜国立大学
横浜ゴム(株)
ライオン(株)
(株)リヴァックス
リコーグループ
リコーリース(株)
(株)リリーフ
リンナイ(株)
ルネサス山形セミコンダクタ(株)
レンゴー(株)
(株)ローソン

環境活動レポート部門

(株)アミノアップ化学

有限会社新井製作所

(株)アルテックス

(株)伊豆美化企画

磯部工業(株)

一宮生活協同組合

伊藤鉄工(株)

(株)今住鉄工

いわて県北クリーン(株)

上島珈琲貿易(株)

エスケー石鯨(株)

SGモータース(株)

MHIプラントエンジニアリング(株)

大鐘測量設計(株)

大橋法律事務所

河南町役場

(株)カワチオート

九州林産(株)

共和アスコン(株)

群馬合金(株)

(株)KDP

(株)弘進

学校法人郡山開成学園

有限会社坂井商店

(株)坂口製作所

(株)佐々木機械土木

山興緑化有限会社

(株)サンフィールド

三立電機(株)松岡工場

(株)GE

(株)ジェイアイエス

滋賀シミズ精工(株)

静岡県立総合病院

(株)シミズオクト

(株)シュガーアンドスパイス

新和ビル・サービス(株)

杉浦紙工(株)

杉山メディアサポート(株)

生活協同組合コープかがわ

(株)千成亭

有限会社そおりサイクルセンター

ダイネツ商事(株)

(株)高槻オート

(株)タケシタ

(株)タズミ

中国労働金庫

有限会社土江重機

(株)DINS堺RAC事業所

東京大森ロータリー・クラブ

東洋冷蔵(株)

(株)道路交安

(株)トーカイ

トヨタカローラ名古屋(株)

トヨタ部品埼玉共販(株)

(株)長沢電機

(株)長門屋商店

新潟工科大学

日鉄住金パイプライン&エンジニアリング(株)

日本化学機械製造(株)

(株)日本環境調査研究所

(株)仁張工作所

有限会社野中製作所

野原建設(株)

公益財団法人広島平和文化センター

(株)福産建設

(株)福商

(株)北陽商会

医療法人仁雄会穂高病院

北興産業(株)

北光金属(株)岩代工場

MARUYAMA(株)

有限会社峯村建設

宮田村役場

モンノ(株)

(株)山崎組

(株)山田製作所

来ハトメ工業(株)

テレビ環境CM部門

大阪ガス(株)

コスモ石油(株)

シャープ(株)

ソニー(株)

東京海上日動火災保険(株)

(株)東芝

(株)トヨタマーケティングジャパン

日本電気(株)

(株)ノーリツ

(株)ブリヂストン

三菱重工業(株)

森永乳業(株)

横浜ゴム(株)

This image shows a single sheet of white paper with horizontal ruling lines. The lines are evenly spaced and run across the width of the page. There are no margins, text, or other markings on the paper.

第16回 環境コミュニケーション大賞事務局

株式会社ダイナックス都市環境研究所

〒105-0003 東京都港区西新橋2-11-5 TKK西新橋ビル3階

TEL:03-3580-8221 FAX:03-3580-8265